

向日回生

真生会
通信

2025年4月発行

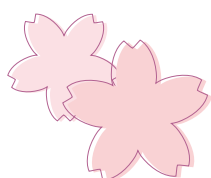


April 2025 春号



理事長挨拶

医療法人真生会 向日回生病院
理事長 岩井 直躬



春は始まりの季節

昨年の夏は例年に比し酷暑が続いたので、冬には本当に寒くなるのだろうかと思う程の暑さでした。やがて冬を迎えると例年どおり寒くなり、春の到来を待ちこがれました。こうして四季は巡り、ようやく春がやってきました。

日本の3月は年度の終わりで、4からは新年度が始まります。まさに春は始まりの季節です。

これまで40年間にわたり当院で外科医として活躍され、また院長職を務められた福井 博先生が3月末をもって退任されました。この間、私たちがこれまで経験したことのない新型コロナウイルス感染症の猛威に襲われ、当院もその苦難にあいましたが、果敢に福井院長は全職員の先頭に立って患者さんの安全を守ってくれました。今後もこれらの経験を活かして顧問として後進の指導にあたってください。

4からは新院長に整形外科を担当している長岡武志先生が就任しました。当院での勤務歴は32年と長く、地域医療にも精通されています。しっかりと院長職を務めてくれるものと思います。また新卒の医療スタッフとして看護師7名、リハビリ士9名および介護福祉士1名の計17名が入職しました。彼等が安心と安全の医療のために若い力を存分に発揮してくれるものと期待しています。

このように春は人が変わる季節ですが、当院の理念である「患者本位の医療と介護」を今後も揺るぎ無く実践してまいります。

表紙「春うらら」

撮影：岩井直躬

陽気に誘われて青空の下、サイクリストは春を満喫します。
(桂川サイクリングロード、松尾橋下流)



◆ 院長退任のご挨拶 ◆

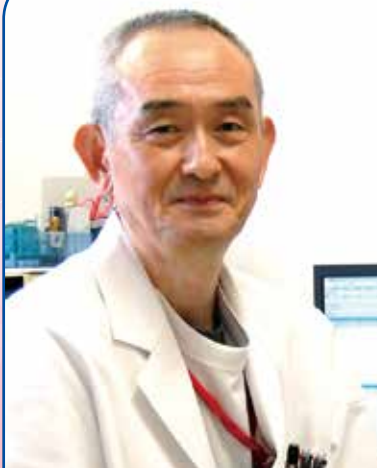
私が第二京都回生病院に就職した昭和59年当時の立地状況は、向日市の幹線道路である物集女街道より洛西ニュータウンに抜ける途中の御所海道沿いにあり、自動車がやっとすれ違いが出来る位の狭い道路でした。それでも向日市唯一の救急病院として年間600台以上の救急車を、北は亀岡市から京都市、南は大山崎・大阪府島本町まで広範囲に受入れていました。必然的に夜間の緊急手術も多く手掛けてきました。

その後地域医療構想の中で医療の集約化、役割分担が進み、周辺の総合病院が積極的に救急医療に関わる様になってきています。また病診・病病連携も確立してきました。狭かった御所海道も久世橋から洛西ニュータウンまで4車線25m道路に拡張されました。

しかし地域の皆様の「とりあえず回生病院へ」との要望にしっかりと対応する基本姿勢には変わりはありません。本年3月で、現在の向日回生病院も含め40年と8ヶ月間となり、ちょうど77歳の喜寿を迎え、体も気力も衰えを感じざるを得ない状況と感じています。今まで何とか務めてこられましたのは、職員の皆様の支えと何より患者様のご支援のお蔭と心より感謝致しております。今後は、30年以上一緒に働いてきた戦友の長岡武志先生に託すことになりました。今までと同様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

本当にありがとうございました。

福井 博



◆ 新院長のご挨拶 ◆

「遠くの名医より近くの良医」

私たちは地域に密着した医療を心がけており、近隣住民にとって向日回生病院に行けば何とかしてくれる、と思ってもらえるよう日々診療をしています。近年標榜科が多岐にわたり、自分の症状ならどの科にかかればいいのか迷うこともあるでしょう。当院では外来を細かく縦割りにすることなく、あえて内科と外科の二区分のみとし、患者さまが受診しやすい形にしています。とりあえずは私どもで診察し、もし必要があるなら然るべきところに責任を持って紹介します。かかりつけ医とは、健康に関することを何でも相談でき、必要な

時は専門の医療機関を紹介してくれる身近にいて頼りになる医師、と日本医師会では定義されています。まさに当院が目指しているものですが、開業医よりさらに掘り下げた状態にするためにCTスキャンは1年365日24時間稼働し、MRIも撮像可能時間帯を拡大しています。どうぞ来院ください。

「ひとりの患者を地域で治す」

一方入院では、高次病院からの下り搬送(大きな病院から満床などの理由で紹介を受けること)を常時受け入れています。また亜急性期から慢性期でリハビリテーション中心となった患者様を入院で受け入れ、治療し、在宅復帰を目指しています。地域の患者様は当院を経由することで家族の望むタイミングで退院できることでしょう。退院した後もしっかりと訪問で関わられます。当院は地域の患者様を大事にし、親や子、孫の代まで診る「かかりつけ良医」となっていきたいと思っていますのです。みなさまに愛される病院となれますように。

向日回生病院 院長 長岡 武志

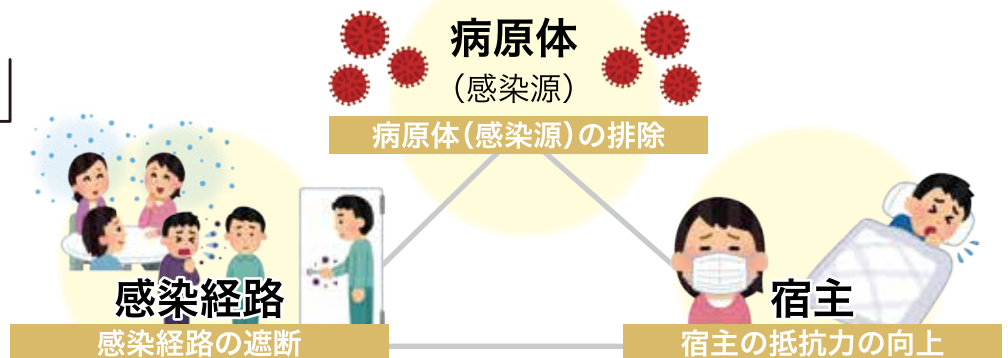
感染対策の取り組みを発表してきました！

乙訓保健所より「今年度、向日回生病院でクラスターが発生しなかった取り組み」を発表してほしいと依頼があり、「R6年度 乙訓地域感染症担当者連携会議」で発表してきました。

感染症とは

私たちの周りにいる病原体が体の中に入り、増殖して様々な症状を引き起こす病気のことです。病原体の種類や宿主であるヒトの免疫力等によって、感染経路や潜伏期間、症状が異なります。

感染の3要素



3つの要素のうちどれかが欠ければ感染しません。

感染を成立させない
3要素

- ① 病原体を施設や部屋に持ち込まない
- ② 病原体を施設や部屋から持ち出さない
- ③ 病原体を広げない

当院の取り組み



『手指衛生』

- ・感染制御チーム(ICT)でパトロールを行い5つのタイミングを現場で目視で確認し指導スタッフに流水による手洗いを蛍光塗料をつけて実施し洗い残しを可視化
- ・看護部感染管理ナース(リンクナース)が逆シャドーイング(スタッフの後ろを影のようについて 同行する学習方法)で5つのタイミングをチェックしOJT(現場教育)実施
- ・アルコール使用量と手袋を比較し毎月グラフ化しフィードバック
- ・意識調査をして手荒れ対策、手荒れしにくい消毒薬の導入、保湿剤の導入



『個人防護具の使用』

- ・適切に必要な場面で使用できるように標準化
- ・スタッフにガウンテクニック(着脱方法)や標準予防策の研修、教育
- ・防護具使用量と必要な手技を比較しグラフ化しフィードバック
- ・手袋の「交換のタイミング」「外すタイミング」「外した後の手指消毒」をマニュアル化



『患者ケアに使用した器材・器具・機器の取り扱い』

- ・ディスポ化しリユース(再生使用)を減らす
- ・滅菌期限を担当を決めてチェック『周辺環境整備および寝具の取り扱い』
- ・ルミテスト(衛生管理キット)による環境調査を行い意識づけ
- ・お掃除ロボット導入
- ・ディスポシート活用
- ・環境整備の徹底



『安全な注射手技』

- ・針容器の持参
- ・針刺し防止機能付き留置針・翼状針導入
- ・ニトリル手袋(針刺し事故防止耐摩耗性に強い手袋)使用の徹底

感染対策の基礎である平時の「標準予防策」徹底方法をこの1年全員で見直し、改善し、実行してきました。

その結果1年間感染症の院内発生を抑えることができました
これからも皆様に『安全・安心な医療』が提供できるよう頑張ります。





家庭血圧と診察室血圧

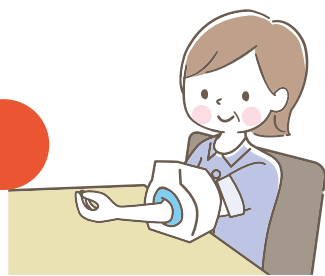
高血圧症は生活習慣病の一つであり、昨年6月から医師の診察時に治療の目標を設定し患者さんから食事の傾向や運動習慣などの生活習慣の聞き取りをしてお薬以外での治療のアプローチを記入し、文書でお渡しするようになりました。

高血圧症はそれほど症状のある疾患ではありませんが放っておくと脳卒中や心臓病などの発症、死亡のリスクが高まります。

ご自宅で測る家庭血圧と病院で測る診察室血圧には差がみられることがあります。

受診時に家庭血圧を記録した血圧手帳を持参していただくと血圧の朝夕の日内変動などもわかり、医師にとって降圧薬の処方の仕方の参考になります。

次に各測定における高血圧基準を示します



成人における血圧値の分類

分類	診察室血圧 (mmHg)			家庭血圧 (mmHg)		
	収縮期血圧	かつ	拡張期血圧	収縮期血圧	かつ	拡張期血圧
正常血圧	<120	かつ	<80	<115	かつ	<75
正常高値血圧	120-129	かつ	<80	115-124	かつ	<75
高値血圧	130-139	かつ/または	80-89	125-134	かつ/または	75-84
高血圧	≥140	かつ/または	≥90	≥135	かつ/または	≥85

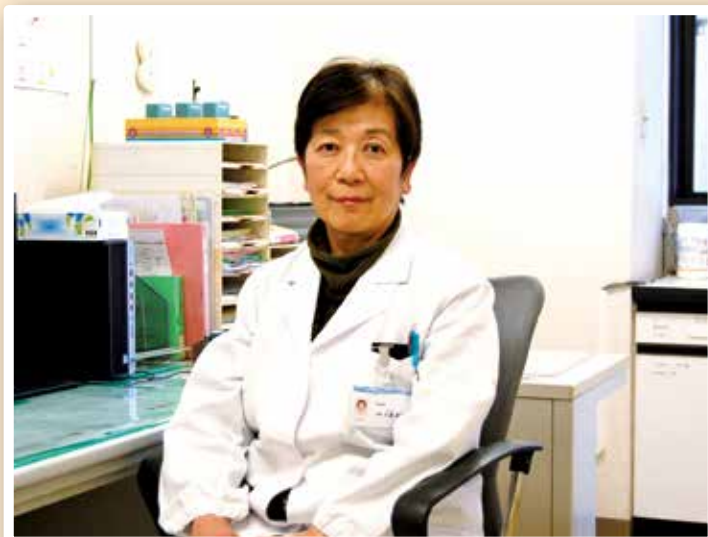
ひとことメッセージ

運動や減量、減塩、節酒、禁煙が高血圧治療の上でお薬をサポートする行動になります。

減薬効果があるのでできる範囲でやってみてください。

真生会通信 2025年 春号 寄稿

内科医師 小黑 美奈子



外科用イメージつてご存じですか？

令和7年3月より外科用イメージの更新を行いました。
一般の方にとって普段あまり耳にしない機械だと思ひ
ますので紹介させていただきます。

当院手術室の様子



島津製外科用イメージ

外科用イメージは、外科系（とくに整形
外科）の手術を行う際に使用する放射線透
視装置です。骨や血管、臓器などをリアル
タイムで観察できる機器で、主にC型アーム
とモニターで構成されます。C型アーム
の両端に備わる「管球部分」（放射線の発生）
と「パネル部分」（放射線を検知）の間に患部
などを固定し、放射線を連続的に照射する
と、体を透過した放射線がデジタル画像に
変換され、モニターに映し出されます。

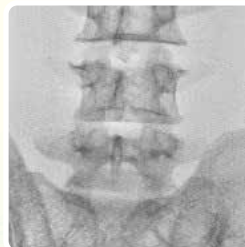
外科手術にて、術中の固定位置が透視画
像で確認できることから骨折部の整復や手
術の手技等この装置で透視画像を見ながら
細かい調整をします。切開部分を大きく
して骨の状態や位置、手術器具などを直接
見ながら手術する必要があるため、患者さ
んの負担が少なく、予後も良くなることが
期待できます。この装置がなければ、でき
ない手術もあるので大切な機器です。

また今回導入した新しい外科用イメージ
は、以前のものよりも照射する放射線量が
少なくなったことに加え、画像もより見や
すくなり、患者さんの痛みや不安、医師の
負担が軽減されるとされています。

手元の操作パネル



手元のタッチパネルには照射線量や
積算された線量が表示され、手術中
に使用した放射線量の管理がとても
容易にできます。



介護医療院

―利用者様を尊重した生活支援―

介護医療院は長期的な医療が必要な利用者様が日常的な生活の支援を受けることができる施設です。

施設でのレクリエーション
例えば、体操や歌、作品作りなどで利用者様が談話室で活動されているイメージがあると思います。しかし介護医療院で生活されている半数以上の利用者様は車いすへの移乗が困難なことからレクリエーションに参加することが難しくなっています。このためレクリエーションに参加できない、食事を口から摂ることが難しい利用者様はほとんどの時間をベッド上で過ごされているのが現状でした。

レクリエーションの目的

日常生活の活性化を図るため他者との交流を持ち、活動をすることで残存能力を活かし維持向上を支援するためリハビリ担当者、看護師の指導を受けながら知恵を出しあい、計画をしてきました。がベッド上で過ごす時間が長い利用者様の気分転換やリラクゼーション、意欲の向上の支援をすることを見直しました。

レクリエーションの内容は利用者様が決める

今までは決まった時間に決まった内容を実施していましたが、利用者様一人ひとりに寄り添いながら、やりたいことを聞き取り、計画に取り入れえました。意思表示が難しい利用者様はご家族から

情報を頂き、車いすに拘らずリクライニング車椅子、ストレッチャーに移乗しみんなと一緒に高校野球を応援する、土曜日の午後に新喜劇を見る、ユーチューブ動画で好きな漫才や歌手を見る、散歩に行くなど個別に対応していきます。

もちろん、今までのように決まった時間に離床し、なじみの顔ぶれに合うことも生活のリズムを整えるために重要なことなので継続していきます。

利用者様が季節の風を感じ自らが離床したいと思い、明日が楽しみになるような療養生活を支援していくためにも**離床100%を目指しています**



利用者様の作品
日々のスケジュール



音楽を聴きながら足浴中



ご家族様がお祝いに来られました

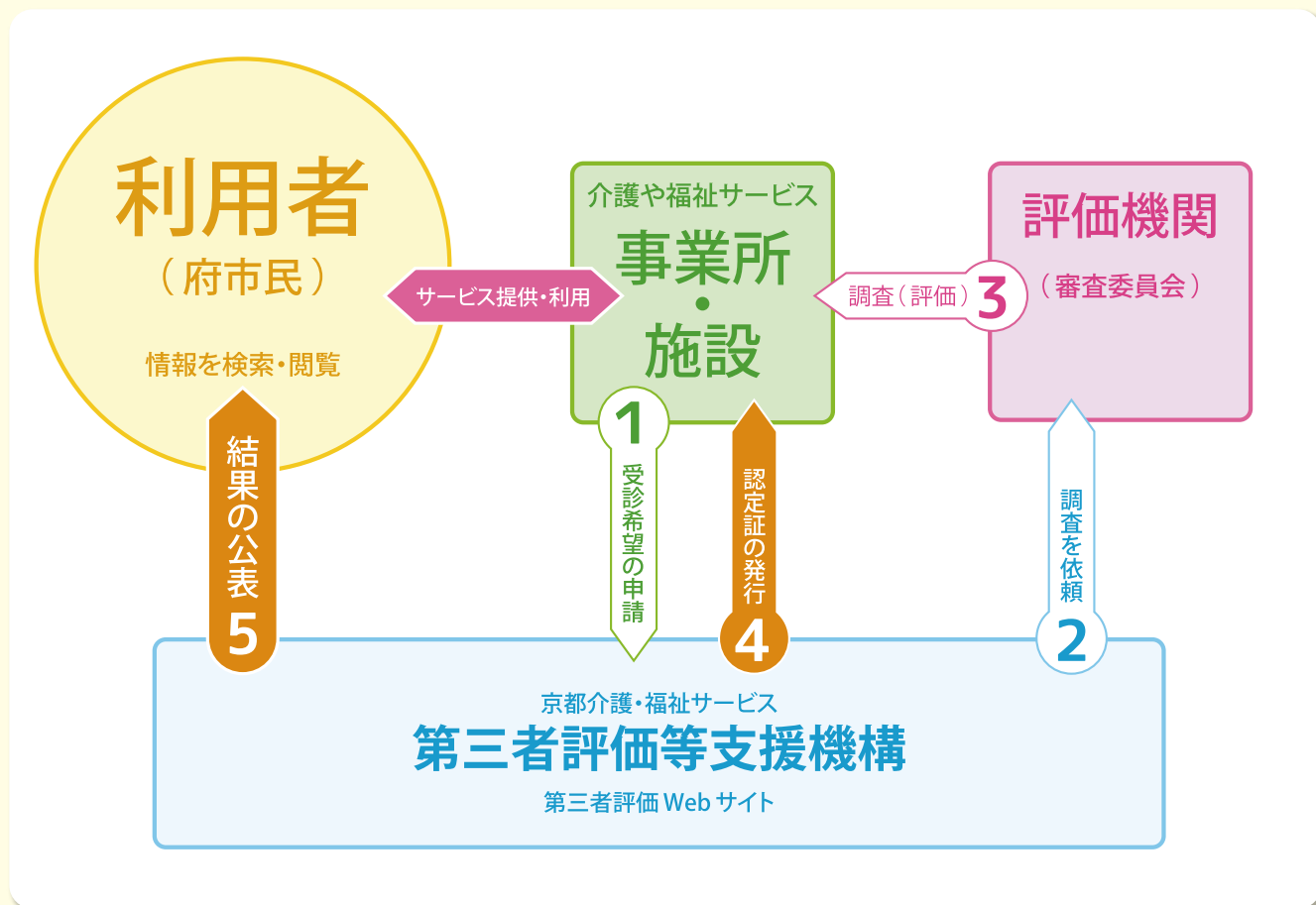


入浴前に外の景色を見えています

介護医療院の第3者評価受審につきまして

向日回生病院介護医療院は、令和6年9月に京都介護・福祉サービス第三者評価等支援機構による第三者評価を受審し、令和7年2月に認定証を受け取りました。

第三者評価は「利用者がサービスを選ぶ際に役立つ情報を得られる」「サービスの質を向上させ利用者に安心と信頼を提供できる」「事業の透明性を図り事業所の取り組みをアピールできる」など、利用者と事業者の双方にとって、有益で意義がある仕組みです。



第三者評価の目的と趣旨は第三者の目から見た評価結果を幅広く利用者や事業者公表することにより、利用者に対する情報提供を行うとともに、サービスの質の向上に向けた事業者の取り組みを促すことで、利用者本位の福祉の実現を目指すものです。

- ・「利用者のサービス選択」及び「事業の透明性の確保」のための情報提供
- ・事業者の皆さんのサービスの質の向上に向けた取り組みの支援

※第三者評価は、決して事業者をランク付けするものではありません。事業者自らの気づきを促し、さらなるサービスの質の向上に向け支援していくものです。

今後もより良いサービスの向上を目指して改善に向けて取り組んでまいります。

何らかの原因で運動発達に遅れを来しているお子さんの歩行獲得や体の使い方のサポート、運動発達の促し、認知機能の発達の促し、食形態や食べ方の指導、変形の予防、お子さんの生活環境に適した姿勢づくりや生活環境の調整など、さまざまなお手伝いをします。

訪問リハビリテーション向日葵かいせいでは 小児のリハビリも行っていきます



壁にペットボトルの蓋をつけたり外したりすることで立つ練習やバランスをとる練習をしています。



ペットボトルの中に色付きの玉を入れて逆さにすることで、色・音・振動などを感じられる手作りのおもちゃを楽しんでいます。



支持物なしで一人で床から立ち上がりできました。しゃがんだり立ったりする練習が活かされたかな？自分一人でできたことに嬉しそうです。



両手を使う動作が苦手でしたが、右手で箱をつかんで入り口を立てて蓋を入れやすくすることで両手を使う練習をしています。

急性期ケア専門士の試験に合格しました！

訪問リハビリテーション向日葵かいせい 長岡出張所

理学療法士 坂田 和寿子

急性期ケア専門士とは、急性期ケア・急変対応におけるスペシャリストです。状態変化の兆候をいち早く察知し、アセスメントから初期対応、医師への報告など急性期におけるケアの実践を行えることを目指す資格です。また、病院だけでなく地域医療に携わる医療スタッフの方にも、在宅時から基幹病院へ【命のバトンをなめらかに】つなぐために実践できるノウハウを習得できます。

あらゆる場面で患者様や利用者様の急変は起こります。在宅で一人で対応を求められる時、少しでも落ち着いて動ける人でありたいと思い資格を取得しました。いざという時に役立てられるよう知識を活かしていきたいと思っています。



Congratulations

Congratulations

Congratulations

認知症サロン すずらん便り



～ 認知症のある患者さまのために～



「認知症サロンすずらん」は 2024 年夏にリニューアルしてから、週3回の定期的な開催ができるようになりました。3～4 名の方が参加され、体操や身体を使った運動、歌唱や音楽鑑賞、創作活動などを行い、午後の1時間ほどを一緒に過ごしています。“すずらん”の部屋は大変見晴らしがよく、京都タワーや比叡山までもが一望できます。

病室の見慣れない環境では見当識（時間、人、場所の認識）が混乱しやすい患者さまも、窓から見える壮大な景色に癒され、空や木々の様子から季節を感じ取ることができます。“すずらん”という場を共有することで、自然に他者との交流が生まれます。一人では気が乗らないことも皆で行えば参加しやすく、リハビリ体操は回を追うごとに上手になり、創作活動の作品も増えてきています。様々な活動の中で「その人らしさ」が垣間見えることがあります。認知症症状を持ちながらも、一人一人の「できること」が生かせればと思います。

認知症の患者さまが退院されるその日まで穏やかに療養できるよう、支援したいと思います。

サロンに参加された患者さまと創作しました



12月の作品『富士山 初日の出』



2月の作品『桃の花』



1月は書初めを行いました



病棟からの風景

編集後記

冬の寒さから一転、新年度が始まりましたが、ようやく陽光から春の訪れを感じるようになりました。ゴールデンウィークにはもう夏のような暑さになるみたいですが、ぽかぽかと春らしい穏やかな気候が長く続くことを願うばかりです。

この春、当院では17名の新入職員を迎えました。向日回生病院を選んできてくれたことを本当に嬉しく思います。

次の夏号では、キラキラのフレッシュズをご紹介しますので、楽しみにしてくださいね。

春になると、新しい気持ちで新年度をスタートしたい思いから、身の回りの物を新調する人も多いのではないのでしょうか。学生の頃、年度初めに筆記用具や筆箱を新しくして、中身を入れ替えて準備する時間が好きでした。そんな文

房具好きの私は、先日、念願だった“文具女子博 OSAKA in 2025”に初参戦してきました！

“文具女子博”は2017年に「文具好きが最高に楽しめるイベント！」を合言葉にスタートし、見て・触れて・買える日本最大級の文具の祭典として知られています。会場には48店ほどのブースがあり、右も左も文房具だらけで夢のような空間でした。レトロブームの今、温かみのある懐かしかわいいレトロな文具がたくさん並んでいて、時間を忘れて夢中で見て回りました。

おかげさまでお気に入りの文房具が見つかり、いつもニヤニヤ眺めながら、今か今かと使う時を楽しみにしています♪皆さんも新しいお気に入りと一緒に、フレッシュな気持ちで新年度をスタートしてみたいはいかがですか。



こうやまさなみ

令和7年4月1日付

外来担当医表

外科

受付	月	火	水	木	金	土
午前	菅野	出射 井口	菅野	長岡 井上	出射	長岡
午後 (専門外来)	—	—	—	岩井 (便通異常)	—	—
夜診	菅野	—	長岡	—	出射	—

内科

受付	月	火	水	木	金	土
午前	作田 ^(初) 小黒 ^(再)	西山 ^(初) 松岡 ^(再)	担当医 ^(初) 松岡 ^(再)	小黒 ^(初) 中根 ^(再)	松岡 ^(初) 作田 ^(再)	中根 田中 ^(神経内科) (第1週)
午前 (専門外来)	—	本城 ^(もの忘れ) (第2,4週)	塩山 ^(泌尿器)	—	野々村 ^(泌尿器科) (第1,3週) 岸 ^(もの忘れ) (第4週)	—
夜診	中根	—	作田	—	作田	—

患者様の権利と責務

権 利

1. 良質な医療を公平に受ける権利があります
患者様は、個人として常にその人格を尊重され、病院がなし得る最善・適切である良質な医療を公平に受ける権利があります。
2. 説明や情報を得る権利があります(インフォームド・コンセント)
患者様は、病気、治療、検査、見直しなどについて、十分な説明と情報提供を受ける権利があります。
3. 選択の自由と自己決定権があります
患者様は、十分な説明と情報提供を受けたうえで、治療方法などを自らの意思で選択し、決定する権利があります。また、他の医療機関の医師の意見(セカンドオピニオン)を希望される場合には、当院で受けた診療に関する情報を求める権利があります。
4. 個人情報およびプライバシーが保護される権利があります
5. 診療情報の開示を求める権利があります
患者様は、申請によりご自身の診療記録等の開示を求める権利があります。
6. 研究途上にある治療方法や薬剤の投与(治験)を行うことは、致しません

責 務

1. 自ら健康に関する情報を正確に医療者に伝える責務があります
良質な医療の提供を受けるために、自分の健康状態について、正確に提供する責務があります。また、病状の変化や治療中に生じた問題については、速やかにお申し出ください。治療上必要な指示や助言は、お守りください。
2. 病院の規則に従い他者への迷惑にならないように努める責務があります
全ての患者様が等しく適切な医療を受けられるようにするために、他の患者様や病院職員に支障を与えないよう配慮する責務があります。
3. 治療等に関して自分の意思を明らかにする責務があります
適切な治療方針を決めるために、自分の意思や意見を伝える責務があります。
4. 加入の医療保険等を提示し、受けた医療に対する医療費を支払う責務があります



向日回生病院、では、各階フロアに「ふれあい箱」を設置しております。
皆様のご意見、ご要望等の声を少しでも反映させたく思いますので、お気付きのことがあれば投書ください。